



蔡國華作品展 「響 -hibiki-」

2012年11月26日〜12月8日まで蔡國華作品展「響-hibiki-」が行われました。音楽をテーマに描いた作品の数々は音質までもが描かれているかのような迫力に満ち、見る者にライブの鼓動さえ感じさせました。



また、展覧会がご縁でさまざまな分野の方々との交流もありました。作品が繋ぐ人の輪は画空間にとつても大きい財産です。ここに、ご来場者からの嬉しいメッセージをひとつご紹介します。

かせつこう様からのメッセージ

高校時代のテニス仲間で、もう50年以上も長い付き合いの友と、銀座で待ち合わせをした。このところの悩み事が、彼女とすつかり同じで、ランチしながら「わかる、わかる」と、お互い涙。ここまで共有できる友はすこい。

彼女は絵を描くのが趣味で、これからその先生の「蔡國華作品展」を見に行こうとの誘いに、京橋を歩いてビルの三階の画廊に入った。私の目に入ったのは「赤」、それもきつなく柔らかな赤の中に、サックスを吹く眼鏡の丸顔で味わい深い顔のジャズメン。その指先、手の動き、音の流れ、ジャズの響きが私に伝わる。

絵の前に立ちながら、まるでその音色が聴こえてくるような暖かな空間、柔らかな表情がそのまま私に伝わる。

十年ほど前、ニューヨークの地下鉄のホームで聴こえてきたジャズ。黒人男性二人の踊りながら、スチールギターを弾きながらのそのジャズの響きが地下鉄に響き渡り、感動したあの日と重なった。しばらく絵の中に入り込んで、何だかとても豊かな穏やかな気分になった。

帰り道、今までの心のもやもやがサァーと消えて、明るい私になっているのに気づいた。連れて行ってくれた友に感謝し、絵との出会いに感謝した素敵な日だった。



光と風と語りいと… 2月 蔡國華作品展

「スケッチ散歩」

2月1日〜8日まで蔡國華作品展「スケッチ散歩」が行われました。2013年最初の展覧会ということで、明るく光に満ちあふれたスケッチ小品20点余りが展示されました。

これは、蔡さんが一冊のスケッチブックを相棒にたくさんの国を旅し、街にどけ込み描きためたものです。陽射しの暖かさや風の匂いまで感じとれるような作品に、旅心をそらされた方も多かったことでしょう。これらの作品を含む60点以上のスケッチ作品を収録した画集も出版いたしました。

（画集についての詳細は裏表紙をご覧ください）



ワシントンDC在住 野口美智子さんからのメッセージ

おかげさまで、この絵と毎日一緒に暮らせて本当に幸せです。いくら見ても飽きないどころか、見入るたびに新しい発見があるのです。一筆一筆の意味合いや微妙な色の混ざり合いに感嘆するばかり。銀座で蔡さんにお目にかかり、この絵に出会ってからわずか数週間。はるばるワシントンまでお送りいただき、今こうして我が家にあるとは夢みたいですね。この絵は蔡さんの心と情熱がこもった芸術作品であるとともに、私にとっては人との絆のたまものです。高校のクラス会で久しぶりに会った友人から紹介していただいた蔡さん。送るのに苦心してくださった画空間のスタッフ、皆様のあたたかい心のつながりをいつも感じさせてもらっています。また、いつもはなかなか意見が合わないのに、この絵には夫婦そろって一目惚れしてしまったのも不思議でうれしいことでした。そして、一年余り前に亡くなった、バレエや音楽が大好きだった母の記念品とすることができました。おかげさまでこの絵は私たちの幸せのシンボルとなりました。



神戸大学で講義



「コミュニケーションを考える」のテーマで、栗原社長が12月5日神戸大学で講義しました。

「報連相」が大切と言われる「報連相」より3C（コミュニケーション/コーディネーション/ワーク）がさらに重要です。コミュニケーションは、効果的なワーク（協働行動）を目的に、コーディネーション（対等の立場で調整）を含めて広義に捉えるべきです。

コミュニケーションは、組織の文化と個性の反映です。何が大切で、何が美しい行為かの共有の価値感であり、メン

バーの心と行動のズレです。それは日々の鍛錬で習慣になります。スポーツチームで、メンバーが鍛錬で磨かれ、優れたチームプレーが可能になることと同じです。

人は伝達内容を五感で知覚し、認識、認知しますが、知覚と認知の両面で、受け手の頭と心に無意識の歪みが生じます。知覚の歪みは「錯覚」、認知の歪みは「認知バイアス」と呼ばれます。無意識下で作用する錯覚や認知バイアスの存在を、発し手も受け手も自覚していなければなりません。（講義では、「見えないゴリラ」のビデオなどで、無意識の歪



みを聴講者が体感し、大きな愕きを呼びました）
コミュニケーションは「二体間・三体間・二対多・自己内」のコミュニケーションに分かれます。「二体間」の一例は「叱り、叱られ」関係です。叱られる人は叱りを有り難いと感謝し、納得できれば振る舞いを変え、納得できなければ叱る人に問うのです。こうした人は「叱られ上手」です。若い人が「叱られ上手」になれば、人生での得は計り知れないでしょう。

注意する人は、自分が100%正しくなければ人に注意できないなどと考えず、自分の中にも正邪の戦いがあることを

もちつき大会

2012年12月26日（水）、大阪本社にてももちつき大会が開催されました。もちつき大会は昨年からはじめ、今年で2度目。今年は年始が7日からのため、年末に繰り上げての開催となりました。



前日に洗っておいもち米を蒸し器にセットし

て、待つこと50分ほど。あたりに蒸しあがつたいい匂いが漂いはじめると、工場や事務所からわらわらと人が集まり始めます。

お米が蒸しあがつたら、本格的にもちつき開始。昔ながらの臼と杵で力自慢の製造部が代わる代わるもちをつき、事務所のみんなで小さくちぎって丸めていきます。小さなお供たちも支えてもらいながら、杵を持ってべったんべったん。つき立てのやわらかいお



もちは、あんこ、きな粉、砂糖じょうゆ、大根おろしからいちご大福まで、バラエティに富んだ味付けでその場でぱくり。おいしさに会話も弾みます。



今年初の試みとして鏡もちにも挑戦。手作り感あふれる鏡もちができました。従業員や加工所の方が家族ぐるみで親睦を図れる機会を作ろうと始めたもちつき大会ですが、今年も子供たちの笑い声が響く楽しいもちつき大会になりました。

新人発表会

当社では10年以上にわたり、新入社員とのコミュニケーションのかけ橋として新人発表会を開催しています。

新卒採用者には卒論や学生生活の事、中途採用者には前職での経験などを、質疑応答も含め1人30分程で発表してもらっています。人柄や経験と技能などが分かり、新人が職場にどけ込むための大切な機会となっています。

得意なギターの弾き語り、特技で表彰されたメダル、前職での苦労話などが披露され、感動のどよめきや笑い声が響きます。緊張しながらも懸命に発表する姿を見ると、いつも自然と新鮮な気持ちになれるものです。



前日に洗っておいもち米を蒸し器にセットし

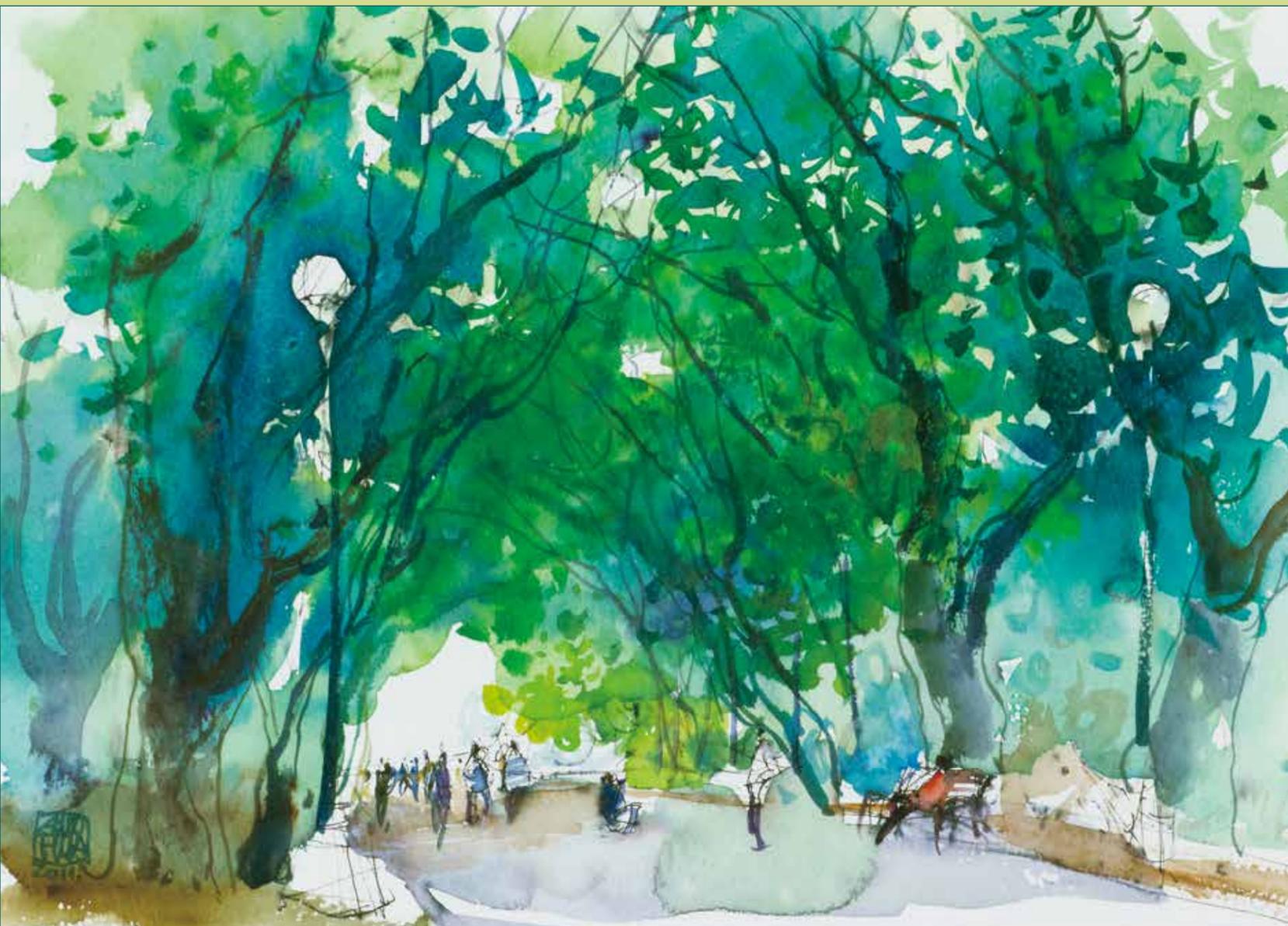
KURILON Work Shop News

クリロン ワークショップ だより Message



No. 10

2013.3



「green tunnel」 蔡國華

Information



蔡國華作品集「スケッチ散歩」 発売中！

「スケッチ散歩」展を記念いたしまして、スケッチブック風の楽しい画集を出版いたしました。展示作品を含む60点以上の水彩、ペン画等のスケッチを収録しています。遊び心のある魅力あふれる一冊になっております。2月1日発売 3,800円(税込)

※ご注文は画空間ホームページ「お問合せフォーム」よりお願い致します。

画空間ホームページ <http://www.a-kukan.com/>

ユーザーの声をフィルムに表現する
クリロン化成株式会社
<http://www.kurilon.co.jp/>

心が豊かであるために・・・
KURILON Work Shop
<http://www.kurilonworkshop.com/>